

「WWL (ワールド・ワイド・ワーニング) コンソーシアム」で目指すもの
～「SGH (スーパー・グローバル・ハイスクール)」の
その後の展開



ちよう さ か おり
帖 佐 香 織

(国際中高社会科教諭)

本校は、2020年、文部科学省よりWWL事業拠点校の指定を受けました。2014年より5年間指定を受けたSGHでは、「環境先進国に学び、世界に提言」というテーマを設定し、「グローバルな社会課題である環境問題に対して主にヨーロッパの環境政策について学び、学んだことから発想した政策案を京田辺市や京都市などの自治体や国際機関に提言することを試みました。SGHプログラムでの学習により、本校の生徒たちは環境や世界の社会課題への関心をより強く持つようになり、課題解決に向けての協働の経験を得て成長していったことは非常に重要な成果でした。2020年7月、レジ袋有料化の実施にあたり選ばれた「環境省プラごみゼロアンバサダー」の3人の内の1人に、本校のSGHプログラムを3年間受講した生徒が選出されています。

このプログラムにおける、特にヨーロッパ・フィールドワークでの経験から、優れた環境政策は、都市計画や街のあり方、そしてそれを支える教育や成熟した民主主義と大いに関係があることに気がつきました。また、実践してきた新しい

教育プログラムをより発展させたいとの思いもありました。そこで、より多様な生徒やステイクホルダーの方々と連携し、課題解決を目指すことのできるグローバルな人材育成を目指す「WWLコンソーシアム」を構築し、「持続可能な都市の構築」をテーマとするプログラムを実施していくことになったのです。

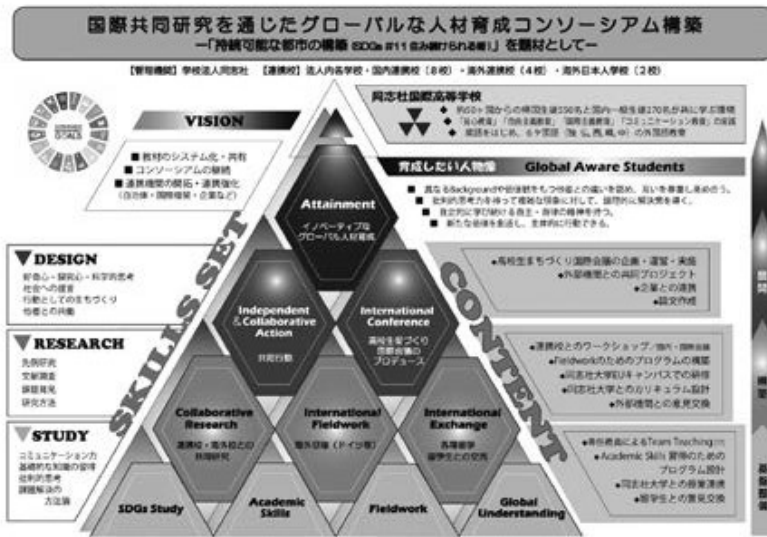
本校は事業拠点校として、同志社法人内各高等学校をはじめとし、ノートルダム女学院高等学校、京都聖母学院高等学校、洛星高等学校(京都府)、武蔵野大学附属高等学校(東京都)、海外日本人学校であるストックホルム補習授業校とプリンストン日本語学校、The Nueva Schoolなどアメリカ、ドイツ、フランスの現地校とのコンソーシアム運営を行います。総合大学である同志社大学とも連携しながら、連携校共通の教材で学ぶ機会を持つたり、同志社大学EUキャンパスなどを含むフィールドワークの連携校の共同実施を考えています。(資料1)今年度は、高校1年生必修科目として設置したSustainable Society Study(SSS)、2年生、3年生の選択科目として設置したSustainable Society Research(SSR)'

Sustainable Society Design (SSD) を開講し、合計7名の担当教員が、意見を出し合い、より良い授業を行えるように日々ディスカッションをしています。授業も1学期の一部はオンライン実施で、試行錯誤の毎日ですが、情報科教員やITに強い教員、理系・文系様々な知識や発想にもとづき自由に意見を出す教員、アメリカ国籍で日本・アメリカで教育を受けた教員、SGHの経験をもつ教員などそれぞれが力を発揮することで、ティーム・ティーチングの良さがより発揮された授業になっていくと思います(資料2)。

生徒たちのITスキルにも差がありますが、幸い、2020年6月現在では生徒たちは登校し、対面授業が始まっているので、オフライン、オンラインの良いところを生かしながら課題を進められるコミュニケーションスキルを身につけてくればと考えています。

まだ始まったばかりで成果など未知数の部分がありますが、まずは教員の側が新しい挑戦と出会いを楽しみながらプログラムを構築していきます。

(資料1)
文部科学省提出の構想概念図。現在W
L指定校は全国で22校。
https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/2020/mext_00177.html



(資料2)

高校1年生必修科目SSSは、約270人が受講します。グローバル化やSDGs、街づくりに関する基礎知識とともに、レポートを書いたり、リサーチやプレゼンテーションを行う基礎的なスキルを身につけることを目指しています。1学期は左表のような流れで授業を実施しました。

5月15日	イントロダクション(6人の担当教師によるオリエンテーション、ディスカッション動画配信。) 「住みたい街づくり」に関するアンケート (google formで提出。)	オンライン
5月22日	グローバル化の定義(動画配信、課題はpdfで配信し、提出はgoogle formで。)	オンライン
5月29日	「住みたい街」についてのリサーチ(「住みたい街づくり」アンケートの結果公表、課題はpdfで配信、グループでスライドの担当範囲を作成。)	オンライン
6月5日	「住みたい街」リサーチの続き、グループでの役割分担 (google classroomのチャットで報告をする。)	オンライン
6月27日	「住みたい街」スライドを共同編集し、中間報告を提出、各自がリサーチにより集めた資料の提出(google driveに提出。)	オンライン
7月6日	グローバル化の定義のまとめ(6人の担当教師によるインタビュー動画配信。)	オンライン
7月13日	「住みたい街」リサーチのフィードバックと完成版提出 (google classroomに提出)	オンライン
7月20日	「住みたい街(フライブルク、ストックホルム)」に住む二人の講師による遠隔講義(動画配信)	オンライン